

岡山県総合文化センターニュース

県内美術館所蔵作品紹介

新見美術館

ぶりょうとうげんず 『武陵桃源図』

とみ おか てつ さい
富岡鉄斎作
(鉄斎70歳代)

中国、晋の時代、武陵の漁民が道に迷い、川をさかのぼるうち、突然、目の前が開け、桃の花の咲く、楽園が現われた。その住民から、大変なもてなしを受けた後、村へ帰ってその話をしたため、晋の大守が部下を連れてその場所を探しに出たが、見つけることができなかったという中国の故事による。

鉄斎70歳時代の作で、おだやかで、ゆったりした桃源郷の雰囲気が出ており、鉄斎作品のうちでも名作に属する。

鉄斎は、この画題を好み、生涯10数点を画いたものの一つである。



〒718-0017 新見市西方361 TEL(0867)72-7851
交通 JR新見駅下車徒歩10分

新見美術館

平成2年11月1日、開館以来、今年で、10年を経過し、新見地方の文化拠点として、重要な役割を果たしてきた。

本年は、この十周年を記念し、4月12日から5月14日にかけて、「平山郁夫展」を企画し、その準備が進んでいる。新見市が昨年、「まなび広場にいみ」として、音楽・演芸専用の大ホールを建設し、その緞帳(どんちょう)の図柄に、平山画伯の名作「しちゆつのみちてんくう絲綢之路天空」をさせていただいた機縁によるものである。

郷土資料室の資料

～ より利用していただくために～

郷土資料室は、岡山県に關係する資料が集まったところ。図書、雑誌、新聞、市町村公報、パンフレット、地図、特別資料（和綴本）などの収集された資料があり、その他に当館で独自に作成した、新聞記事（主に山陽新聞）の切り抜き、新聞記事索引、雑誌記事索引があります。

新聞のマイクロフィルム

特に利用が多く、喜ばれているのは新聞のマイクロフィルムです。山陽新聞（明治12年～平成9年 欠号有）、朝日新聞地方版（大正4年～平成9年）、毎日新聞地方版（昭和58年～平成9年）などがあり、中でも地元紙山陽新聞がよく利用されます。ただし、マイクロフィルムを見るための機械が2台しかないため、大勢で一度に見ることはできません。

市町村公報

現在発行されているものは全てあります。市町村の現在を知るには一番役に立ちます。

パンフレット

観光・施設紹介用が多いので、自治体別に分けて配架しています。

地 図

歴地図、植生図、県主要事業概要図などがありますが、毎日必ず利用があるのが、住宅地図



郷土資料室

です。コピーをする場合には著作権の關係で制限があるので、詳しくは職員にお尋ねください。

特別資料（明治期より前の資料）

現在データ化、電子化のための作業のため利用できない状態にあり、御迷惑をおかけしております。作業が終了するのは平成12年度中の予定です。

当館作成資料（2次資料）

新聞記事（山陽新聞）の切り抜きは、毎日の記事から岡山県に關係のあるものについて、分類・整理をしています。特に大きな事柄（チボリ公園、苫田ダムなど）は一つのフォルダに集めて一覧できるようにしています。全国紙でも岡山県に關係する連載記事はまとめて綴じて、自由に見ていただけるように配架しています。

新聞記事索引は、昭和46年から平成6年までは冊子体で、平成元年からはコンピュータで作っています。冊子体は件名別、コンピュータでは記事見出しの言葉から検索できます。

雑誌記事索引は、カードで作成して分類をつけています。

郷土資料室は、岡山県に關係する資料について、全てを収集し、効率よく利用者に提供することを目標にしています。どこを探していいのかわからないようなときには、直接職員にお尋ねください。電話、ファックスでも質問は受け付けておりますので、どうぞお気軽にお申しつけください。資料からわかる範囲で回答いたします。

郷土資料室の概要

- ・蔵書冊数 33,714冊（開架約6,000冊）
- ・年間資料相談数 15,901件
- ・年間利用者数 7,134人
（平成11年度要覧より）

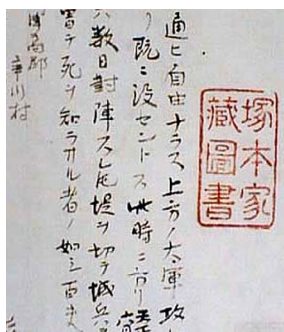
おがやま人物往来 ⑤4

塚本吉彦

岡山県総合文化センターには、例えば「備中国賀夜郡服部郷図」や古川古松軒自筆の「備中国加夜郡高松城水攻地理之図」など「塚本家蔵図書」の印が押された資料が収蔵されている。塚本吉彦の名は岡山の郷土資料に接する者にとっては忘れがたい人物の一人である。

塚本は天保年間（天保10～大正5）の生れ。岡山藩学校に学んだ秀才と伝えられ、郷土の歴史や地理に興味を持って多くの資料を収集し、記録、編纂して、後世の郷土研究の先駆けとなった。号を澹如あるいは好古といった（雑誌『温古』77号 昭和5年6月）。

塚本吉彦は吉備史談会の活動とともに知られる。史談会での講演をまとめた『吉備史談会講演録』（明治37年、以下『講演録』と略す）の緒言によると、吉備史談会は、明治32年第三高等学校医学部（のち岡山医学専門学校）の眼科教授として赴任、東田町に住んだ井上通泰が塚本、岡直廬、松本胤恭らに、「時々相会して吉備の歴史を研究しては如何」とはかったのが始まりという。



塚本吉彦蔵書印

同年11月18日付の「山陽新報」は会長に井上通泰、幹事に塚本・松本・岡のほか、羽生芳太郎（のち永明）の4人が決まったと報じている。

第1回の史談会は明治32年8月13日、井上の家で開催された。会は初め月2回、のちには月1回となったが、会員の増加によって薬師院、国清寺、さらに後楽園栄唱亭などが会場にあてられている。史談会の様子はその都度当時の山陽新報の記事になった。

『講演録』には、塚本のほか、岡直廬、有元稔、正宗敦夫、小野節、羽生芳太郎、井上通泰、武田猛夫などの40の講演が収録されるが、このうちには塚本の姪八重へ与えた古川古松軒の書状を紹介した「古松軒の消息」のほか、「松平忠継君略伝」、「正木大膳亮時堯の伝」などあわせて16の講演が含まれ、その数は塚本が最も多い。

史談会での講演は生の資料を示しながらの報告であったと思われる。『講演録』の末尾に示される出品目録が物語るところであろう。

塚本は大正5年（1916）東京で客死したという。『温古』77号の記事は、塚本所蔵の吉備文献の多くは東京上野図書館に送ってあったため、不幸にも関東大震災で烏有に帰したと伝えている。『講演録』に紹介された資料はもはや現存しないのであろうか。

当館では『講演録』のほか、その編になる『吉備群書解題』や「類纂虎倉物語」（『吉備群書集成』第三巻所収）ほかを閲覧できる。

当館の参考図書 ⑩8

図解文字の書き方字典

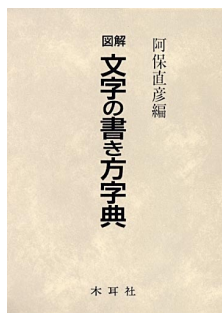
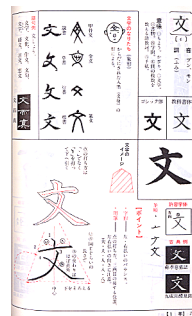
（阿保直彦編 木耳社 1999）

ただ文字を美しく書くための字典は今までもたくさんあるが、本書は、文字を上手に書くためというのはもちろんのこと、それを指導する側にも役立つことを念頭においてつくられたものである。

それぞれの文字に対して、図解を多く用いて「止め」「ハネ」「字形のバランス」など、上手に書きた

めの重要なポイントをわかりやすく説明している。また、それと同時に文字のなりたちを図解で示し、甲骨文、金文、篆文、隸書、楷書、行書、草書等の文字の移り変わりも取り上げている。ひらがなにおいては、連綿例まで記しており、学習者にも指導者にもわかりやすく、使いやすい字典になっている。

巻末には、筆や紙などの用具の種類や歴史、姿勢と筆の持ち方、指導資料として筆順の手びきや許容体、字体の解説などについても記されている。



新着郷土資料紹介

大谷を津に 教祖様の息吹が聞こえる 小林信治著 渡辺泰多刊 1999 98頁
 栄海和尚 小林栄海和尚追想録編集委員会編 上寺山余慶寺本条院刊 1999 249頁
 帝釈峽遺跡群 潮見浩著 吉備人出版刊 1999 155頁
 岡山地方史の愉しみ 人見彰彦編著 人見彰彦刊 1999 354頁
 庭瀬城址ものがたり 庭瀬城址保存会刊 1999 62頁
 私刊戦国期灘崎町史 高取安人著 富士印刷刊 1999 230頁
 ひしま ふるさと読本 笠岡市立飛鳥小学校刊 1999 116頁
 実像吉備真備 小野克正著 手帖舎刊 1999 284頁
 浪花雑記 正岡子規との友情の結晶 大谷是

空著 和田克司編 和泉書院刊 1999 513頁
 三島中洲の学芸とその生涯 戸川芳郎編 雄山閣出版刊 1999 660頁
 岡山大学小坂二度見学長業績集 岡山大学医学部刊 1999 279頁
 総社の散策(岡山文庫) 神野力[ほか]著 日本文教出版刊 1999 157頁
 道ひとすじ 佃幸男教育談話集 佃幸男著 佃幸男教育談話集刊行会刊 1999 361頁
 沢田の花を愛でる 百合草富美夫著 百合草富美夫刊 1999 135頁
 食と農を訪ねて 安全・健康食材をつくる人たち 三村佳代子著 吉備人出版刊 1999 150頁
 岡山の路面電車(岡山文庫) 樽原雄一著 日本文教出版刊 1999 157頁
 吉備前大事典 吉村佳峰編 吉備人出版刊 1999 660頁
 残そう創ろう笠岡物語 グループ・ザ・きょうげん刊 1999 1冊(頁付けなし)

外国語資料紹介

Hello, red fox (by Eric Carle / Simon & Schuster / 1998)



母カエルは、子カエルの誕生日パーティに、やってきたお客さんたちを見て驚いた。何と赤いキツネが緑に、オレンジ色のネコが青く見えるのだ。で

も、子カエルに言われたようにしてみると、母カエルにも別の色が見えてきた。これは、魔法などではなく、人間の目の優れた機能で誰でも体験できることなのだ。

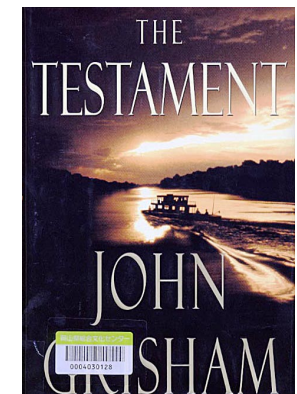
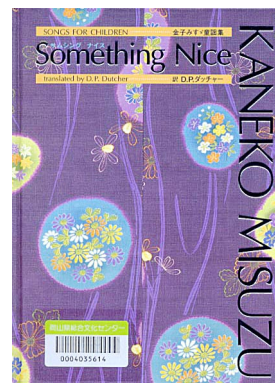
作者エリック・カールは、学習と遊びを関連づける独特の技法で知られているが、この作品では、カエルの話を通して読者に「補色」の概念を紹介している。

The Testament (by John Grisham / Doubleday / 1999)

一代で大富豪となったトロイ・フェランは78歳で、死の床にあった。3人の元妻を筆頭に、彼のまわりには遺産目当ての身内がハゲタカの

ように群がり、遺言書が開かれる瞬間を待ち望んでいた。ところが、いざ公開されてみると、その遺言の内容は誰もが予想さえしていない驚くべきものだった。管財人のネイト・オリリーは、謎の相続人を探しにブラジルの奥地へと向かう。そこで、彼は、神に仕えることを選び原住民と共に素朴な生活をしている、若き女性レイチェルと出会うのだった。

Something nice (poems by Misuzu Kaneko / translation by D.P.Dutcher / JULA / 1999)



「鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。」というフレーズで広く親しまれている詩「私と小鳥と鈴と」は、大正期の詩人金子みすゞの作品である。この本では、26才という短い生涯の中で彼女が残した代表的な詩64編をD.P.ダッチャー氏が英語に翻訳している。付録として、同氏が詩を朗読したCDもついている。

随想

ウソ鳥がもたらした遊び心の町づくり



加原 奎吾（久米郡旭町教育委員会教育長）

桜と湖の町をキャッチフレーズにした旭町。春になると五千本の桜が咲きほこり、三休公園は桜に包まれ、旭川湖畔の桜は水面に映え、まさに桜と湖の町にふさわしい風情をかもしだしています。

この桜も、3年前には一輪の花も咲かないという異変が起こりました。

ある出張の帰りに、岡山からタクシーに乗ったところ、運転手さんが、「私は旭町をよく知っていますよ、桜がとてもきれいな所ですね。又、ダム湖の上をたくさんの鯉のぼりが泳いでおり、毎年、家族や友達と花見に行くんですよ。今年も楽しみに、大勢の人を誘って貸切バスで行ったところ、桜が咲いていなくて、本当に残念でした。」と話されました。

たしかに、桜は咲かなかったしその原因についても、夏の干ばつだろう、前の年によく咲いたので木が弱ったのだろう、といろいろ話が出た中で、それも原因のひとつかも知れないが、やっぱり桜のつぼみを「ウソ」が食べてしまったんだろうという話しになりました。

専門家に調べてもらったところ、ウソ鳥による被害であることがわかってきました。

ウソ鳥は、スズメ科の小鳥で美しい声で鳴くこと、群れをなして飛んで来て、ふくらみをおびた桜の芽をくちばしでついばみ落としてしまうことが判明しました。

新聞にも、旭町の桜はウソ鳥の被害により全滅、という記事が全国版に掲載されたところ、各方面から問い合わせが殺到するやら、人に逢っ

ても、桜が咲かないそうですね、とよく言われました。そこでいつも、ウソにやられて桜は咲きません、と言うと、ウソー、本当はどうしたんですか、と聞かれるので、本当にウソ（嘘）でなくウソ（鳥）にやられたんですと返事しますと、相手の人は冗談と思うらしく、本当の原因は何ですかと再度聞かれます。よく説明しますと、はじめて納得されます。笑い話のような話しですが、町にとっては真剣な問題です。

そこで、このウソ鳥を何とかしなければ、美しい桜もみられないと考えたのが、ウソ鳥の嫌う忌避剤を散布することでした。捕獲すること、銃で脅すことも考えられましたが、益鳥でもあるウソ鳥と共生できる方法として忌避剤の散布となりました。

この忌避剤の効果があつたのか春には見事な花が咲き、大勢の花見客で賑わうことができましたし自然保護団体等からは、粹な凶らいであると感謝されるやら思わぬ反響もありました。

こうなりますと、今度は「ウソ鳥」を町おこしにしようと考え、三休公園内の民話広場に「ウソ鳥大明神」を登場させました。

祭りは、4月1日のエープリルフールの日と定め、昨年第一回の祭りを盛大に開催しました。これまた、全国的に報道されました。岡山桃太郎祭りにも参加しました。

ウソも方便という言葉も有りますが、お互いが本音で語り、人を信じ、人の人権を大切にす心豊かな町づくりに「ウソ鳥」がもたらした、遊び心のユニークな方策がどんな結果をもたらすか、楽しみなところです。

今年も、忌避剤の散布がはじまりました。

自動車文庫・へき地児童巡回文庫の事業終了

自動車文庫は昭和27年1月からおよそ48年間、へき地児童巡回文庫は昭和41年度からおよそ35年間の長い歴史を閉じることになりました。

現在、県内市町村には分館も含め39館の図書館が設置され、その蔵書も330万冊を数えるに至り、こうした中で3台あった図書館車を順次縮小し、この3月で事業を終了することになった次第です。

各駐車場や学校では多くの利用者や児童生徒から常に期待され親しまれて、走行した距離は約百万キロ、利用された図書は約450万冊にも達

しました。長い間ありがとうございました。

今後、図書館活動は市町村の役割に期待するとともに、総合文化センターでは、市町村への協力用図書約10万冊を用意し、希望により、公民館等の施設に一定期間まとまった冊数の図書を貸し出すことにしております。

積極的に活用していただきませうよろしくお願ひ申し上げます。



最初の自動車文庫「きび1号」車

平成12年

4・5月の催物案内

岡山県総合文化センター

ギャラリー（開場時間 9:00～17:00）

期間 (週)	第1展示室		第2展示室	
	大室	小室	大室	小室
3/28～ 4/2	第5回請(あお)の会展 日本画50点 請(あお)の会 入場無料	第2回龍翔会展 書35点 龍翔会 入場無料	第37回なぎさ会展 書150点 なぎさ会 入場無料	豊玉会創作夢展 木彫42, 木工47, 漆塗42点 豊玉会 入場無料
4/4～ 4/9	第19回日本画「叢(くさむら)の会」展 日本画120点 日本画「叢の会」 入場無料	第5回写真家集団群青「東京展より」 写真等83点 写真家集団群青 300円・老人, 会員250円	第34回大潮会岡山支部展・ 第8回岡山支部小品展 油絵, 水彩画, 日本画60点 大潮会岡山支部 入場無料	第1回日本画「グループ煌(きら)」展 日本画50点 グループ煌(きら) 入場無料
4/11～ 4/16	第36回遊神書道会展 書道120点 遊神書道会 入場無料	第36回同好展 油絵, 水彩画, 水墨画, 日本画50点 岡山勤労者絵画同好会 入場無料	第38回岡山平和美術展 写真等90点程度 岡山県平和美術会 200円, 中学生以下・老人・会員無料	第21回木馬会書道展 書道80点 木馬書道会 入場無料
4/18～ 4/23	第25回白玲書道会展 書道100点 白玲書道会 入場無料	第9回「宙(そら)」日本画作品展 日本画25点 「宙」日本画勉強会 入場無料	第31回正筆会菁華書作展・ 第28回正筆会岡山地区展 書道180点 岡山正筆会 入場無料	第33回清流会書道展 かな書作品100点 清流会 入場無料
4/28～ 5/21	第31回日展岡山展(巡回展) 日本画78点, 工芸50点, 書画80点 山陽新聞社 前800円, 当(一般)1,000円, (高校生)700円, (小・中学生)400円, 65歳以上・障害者無料, 団体(20人以上)割引有 5/8, 5/15は, 閉館します。			
5/23～ 5/28	第54回行動展(巡回展) 油絵135点, 彫刻4点 中四国(岡山)行動美術協会 前500円, 当(一般)600円, (学生)400円, (老人)無料			
5/30～ 6/4	第59回創元展(巡回展) 油彩100点, 水彩15点, 版画5点 (社)創元会 (一般)700円, (学生)500円, (老人・障害者)無料, (会員)300円			

ホール(固定席282席)

日(曜)	催物	時間	料金	主催者
4/15(土)	音楽発表会(ライブ)	13:00～16:00	無料	岡山大学鹿田軽音楽部
4/23(日)	私達のコンサート	13:00～16:00	無料	パワフルミュージック
5/13(土)	バンド発表会	13:00～16:00	300円	岡山大学軽音楽フォーク部・ 就実フォークソング部おもちゃ箱
5/14(日)	平成12年度民謡発表会	10:00～16:00	無料	民謡和楽会
5/18(木)	平成12年度岡山県青少年育成県民会議総会	13:30～16:30		(社)岡山県青少年育成県民会議
5/27(土)	第35回文化センター合唱団定期演奏会	18:00開場 18:30～20:30	無料	岡山県総合文化センター (総務課文化係)

抽選会は, 6/1(10～12月)・9/1(1～5月)・12/1(6～8月)・3/1(9～11月)です。

平成13年度使用分(抽選日, 9/1)から対象月を2か月繰り延べますので, ご注意ください。

ただし, 使用目的は, ピアノ発表会・バンド演奏会・演劇公演等, 営利目的以外の催しに限ります。

会員.....文化センター友の会及び文化振興会会員

催物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。

お知らせ
図書館部門は図書整理のため
4月1日(土)から
4月14日(金)までの間
閉館いたします。